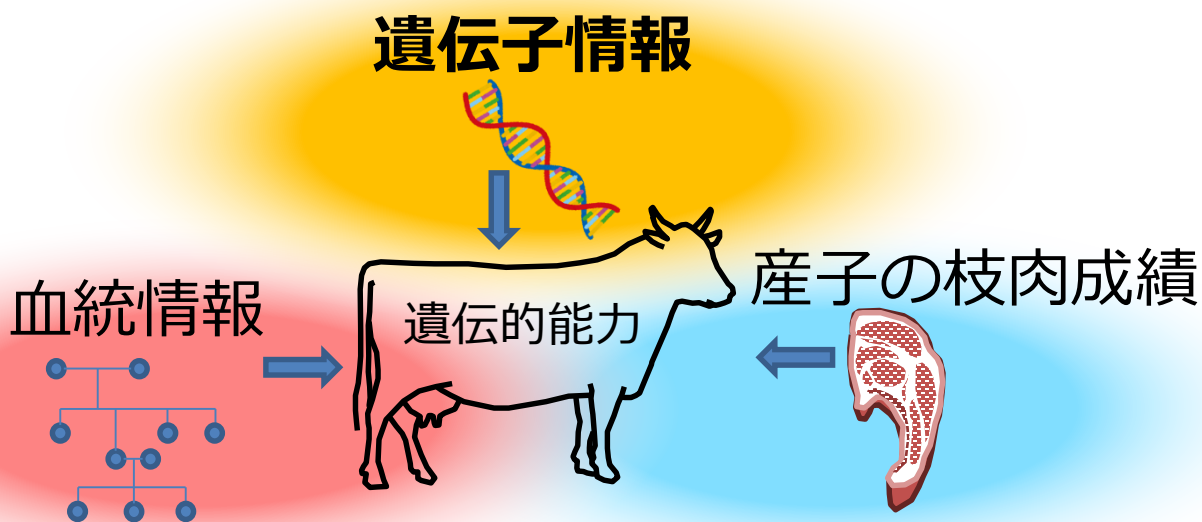


肉用牛ゲノミック評価とは？



肉用牛ゲノミック評価は、従来の育種価に**遺伝子情報を加えた新しい育種価評価**です。これまでに活用されてきた推定育種価と比べて、次のような特徴があります。

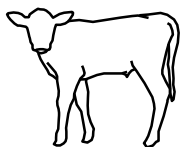
① 生後すぐの子牛でも算出可能

推定育種価は判明するまで5～6年が必要でしたが、ゲノミック評価は生後すぐでもDNAを検査すれば算出できます。

② 全きょうだいの比較が可能

子牛市場名簿などに記載されている期待育種価は、父牛と母牛の育種価を平均したもののなので、全きょうだいは全て同じ値になります。DNAを検査するゲノミック評価なら全きょうだい間の差も比較することができます。

太郎×はなこ



太郎×はなこ



どっちが
いい牛？



検査は毛100本程度を検査機関に送付するだけで、とても簡単です（有料）。

ゲノミック評価を活用することで、肉用牛の改良速度の向上が期待されています。